次を創る！ 事業を支える人材を育成する!!

**現場起点での構想づくりから事業化へのスキルを磨き、
実務で成果を上げることができる人材の育成を目指す
地域発の新しいプログラムが始動します。**

2017年度
ビジネスプロデュース力養成ワークショップ

ワークショップ始動の想い

浜松の地で、多くの企業や団体、文科省のご支援で、5年間にわたって、開発された新たな事業化を志す人材を育成するプログラムを礎とし、地域発の新しい企業人材育成のワークショップが始まります。

技術の引き出しをたくさん持っていてもどのように活用すればいいのか、使い道を考える術が見いだせない。
幾多の成功事例の分析によるアプローチで、知識・ノウハウ等を得ても、現場に入ると活用出来ない…。
ワークショップは、日常の現象から課題を設定し、すでに起こっている未来を前提に、新たな仮説を見出し(＝閃き)その検証を行い、仮説を修正し、再度、検証することが事業化の起点と考えています。

・新たな事業の芽となる“ひらめき“のヒントは身近な現象の中に
・“ひらめき”はゼロからは生まれません
・現場の観察から得られる情報を紡ぎ合わせることが大事

【お問合せ】公益財団法人 浜松地域イノベーション推進機構
フォトンバレーセンター（担当：鈴木正・鈴木利昭）
TEL：053-471-2111 / E-mail：photonvc@hai.or.jp
URL：https://www.hai.or.jp/

ビジネスプロデュース力養成ワークショップの概要

■浜松エリアの事業特性

● 輸送機器産業の発展を支えている中堅・中小企業・小規模事業者が集積

・大企業の協力企業として、QCDの追求で培った高度な製造技術力を持つ。

・一人一人が主役になって仕事をこなす集団として成長、一意専心の風土を持つ。

・ユーザー(顧客)視点からの製品開発/商品企画を検討する機会や時間が少ない。

● 地域の企業経営者が抱えている課題

・製造技術力強化につながるキャリア(即戦力化）人材の確保

・顧客（市場・社会）視点から商品化や事業化を企画する人材の育成

・セミナー等に参加したが、その場ではわかったが、現場でやろうとするとどうすればいいのか、結局は指示待ちに、その姿勢からの脱却が課題

■ ワークショップの特長

● 企業の現場で実践を重視する講師の参加

・企業の新規事業企画・開発部門マネージャーとして数々の失敗経験と僅かな成功体験を持つ人材を招聘。実践現場で使われる言葉に置き換えて説明。

・主に中小企業・小規模事業者を対象に、現場に入り込み、課題設定とその対応に飛び回っている現役の事業コンサルタント陣を東京から招聘。

・浜松の中小企業を主な顧客としてコンサルティングを展開されている会社の現役コンサルタントを招聘。地域の事情を熟知した力強い仲間の誕生です。

● 受講者が設定している現場・現実の課題をテーマに実践面からの討議を展開

・業種・職種が異っても、課題には共通の要素を根っこに見ることができますが、受講者の立ち位置が違う為、討議の過程で新たな発見や気づきが見出せます。

・受講者の課題をワークの素材にして討議を進めますが、専任講師が各自の持つ課題への活用のアドバイスを行うことにより理解・納得が頂ける筈です。

・専任講師陣からの講義やアドバイスで得たいくつかの気づきを関係づけて、課題対応の仮説を創る力を養うと共に、メンバーの意見を参考にすることで、仮説を客観的にみることができ、思い込みの排除を促します。

● 浜松地域発の人材育成プログラムの目的や内容に共鳴する有志による運営

・ナレッジの理解と活用を講師陣の講義とチーム討議で進めます。チームは、専任講師・受講者・先導役で構成、先導役は地域を知る地元企業の若手が担当します。

・マーケティング（開発・企画・営業≠販売）を学問ではなく、社会人が持つ一般教養としてわかりやすく説明を行います。

・業務等の都合で欠席・途中退席した受講者に対するフォローを補講ゼミとして開催日の翌日に行います。(希望者がいない日は中止の可能性もあります)

ビジネスプロデュース力養成ワークショップの運営について

■ ワークショップの構成

- **チーム構成：１チーム　9名（受講生7名、専任講師１名、地元企業の有志１名）**
  ※ 3チームを結成してワークショップを進行
- **講師陣：6名（東京3名、大阪1名、浜松2名）**
- **チームサポーター：3名～5名（地元企業の有志＝過去のVIPS修了生）**

※　補講ゼミ：業務都合等で欠席・途中退出した受講者には補講を実施する。
（原則ワークショップの翌日に開催）

※　修了書：小論文の寄稿（提出期限は2月26日(月)予定）と出席率を評価基準とし
基準をクリアした受講者に授与する。

■ ワークショップのカリキュラム

**基本スキルの
ブラシュアップ**

・対人力
「聴く・訊く」
「書く」
「話す」

・思考力
「考察」
「推測」
「関係づけ」

**プロデュース力への
接近**

・構想力
・遂行力

**課題対応
プロセス
応用力の
確認**

**グループワーク
（3日間）**

**主題
「伝わるように伝える」**

**受講者の
保有課題を明確にする**

**各グループの専任講師から
メンバーへの提言・助言**

10:00～11:30　レクチャー＆討議
11:30～12:30　グループ討議
13:30～14:00　レクチャー＆討議
14:30～18:00　グループワーク

**中間レビュー
（1日）**

ピッチ練習

10:00～18:00　ガイダンス＆ピッチ

**プロジェクトワーク
（4日間）**

**主題
「課題への対応を考察」**

**課題設定の精査と
KFSを切り出す**

**チーム単位にて
専任講師とチームサポーターによる
進行**

10:00～11:30　チームレビュー
10:30～12:30　チーム別ワーク①
13:30～18:00　チーム別ワーク②

受講成果の確認

・Before & Afterの確認
課題の設定力
コミュニケーション力
・成果の見せ方

**成果発表会
（1日）**

**ピッチ発表
&
上司への約束**

13:00～18:00　受講者による発表
修了式
意見交換・交流

ビジネスプロデュース力養成ワークショップ2017　カリキュラム概要

ステージ	開催日	ワークの儀容	会場
初動 **グループワーク** 3グループ (7名/グループ)	10月 6 日（金）	個人課題をメンバー間で共有。そのポイント講義	**アクトシティ** **研修交流センター** **及び** **クリエート浜松** (10:00～18:00)
	10月20日（金）	課題をワークに取り上げ、伝わる工夫を検討する	
	11月 2 日（木）	討議内容、結果を自身の課題の精査に活用する	
中間レビュー	11月17日（金）	ブラッシュアップした個人課題の発表・共有化	
協働 **プロジェクトワーク** 3チーム (9名/チーム)	12月 1 日（金）	チーム単位で、精査した個人課題の深掘りの実施	
	12月15日（金）	深掘りで見出された要因の確認と補完情報の収集	
	2018年 1 月12日（金）	課題対応となるKFSの設定・討議	
	1 月26日（金）	課題対応内容のブラッシュアップ結果を発表	
成果発表会	2 月 2 日（金）	成果確認：課題設定/対応プロセスのチェック	**静岡大学 S-Port** (13:30～18:00)

ビジネスプロデュース力養成ワークショップ2017　募集要項

◆受講対象：社会人・大学生（院生を含む）

＊職種・業種・専攻・資格等は問いません。

注：人材育成・教育、コンサルティング分野等の方の受講はご遠慮願います。

＊以下のような問題・課題意識をお持ちの方（企業の方）は、是非、従業員の方や部門長の方に参加をお勧めください。

－保有技術・研究成果を活かし、事業化に際しどこから着手すればいいか見当をつけるのに苦慮している。

－3~5年先には、自社の中核となる事業構想を考え、起案・実行するマインド、スキルを育成したいが、その術が見いだせていない。

◆定員　　：21名（定員になり次第受付を終了いたします。）

◆受講料　：50,000円（税込）

◆申込方法：(公財)浜松地域イノベーション推進機構のHP（https://www.hai.or.jp/）より申込用紙をダウンロード、必要事項をご記入のうえ、以下のアドレス宛にメールにてお申込みください。

＊申込用E-mailアドレス：photonvc@hai.or.jp

◆申込締切：2017年10月2日（月）